



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和4年6月29日

第4号



「絵本を作ったので読んでください」

校長 神田 敏之

3年生の子どもが自分で作った絵本を持ってきました。タイトルは「とくべつなあおむし」です。冒頭部分を紹介します。

今、ぼくがたまごから生まれる。ぼくはモンシロチョウのよう虫だ。せいっぱいたまごから出ている。

つぎの日、ぼくは今、たまごを食べ終わり、キャベツの葉を食べてると「あ、生まれる」と声がしました。ぼくは、はずかしくなってしまうて知らないふりをしました。

<中略>

ぼくがとくべつなあおむしで、あさひな小学校の3-1の人たちにそだてられていることを、まあ人たちが話しているのを聞いただけなんだけどね。ぼくは3-1の人がまんぞくしてもらえようがんばると決意しました。<後略>

3年生の理科の学習で昆虫について学びます。キャベツにモンシロチョウが卵を産み付けるので、それを育てながら学習を進めました。これに関連して、お話を作ってみようとして自分で考え進めたことが素晴らしいです。

本校では、3年生以上の家庭学習で「自主学習」を進めています。決められた宿題ではなく、自分で問題や課題を設定して行うものです。主体的に学習する力を育てる一環になっています。

この絵本を作った子どもは、クラスのみんなやいろいろな人に読んでもらいたいという思いをもちました。絵本の後ろには、質問や感想を書くページがありました。また、「友達が作ってくれたミニストーリーです。読んでみてください。」と友達が作ったアゲハチョウとモンシロチョウの2匹が森へ出かける話も載っていました。

子ども同士のかかわり（対話的な学びともいいます）というものも学習にとっては必要です。友達の考えを聞くからこそ今までの自分の考え方にとらわれず、考えが広がったり、深まったりするからです。

これからも自分で問題を見つける力を育てる学習や考えを伝え合って深めていく学習を進めていきます。夏休みの学習でも同じです。自分で考え、判断し、行動できる姿を目指しています。ご家庭で過ごす時間が多くなると思いますが、ご協力をお願いします。うまくいかない時にも前向きな励ましをお願いします。